

かゝる闘争を眞に大衆的なものとして、工場農村に根を持つた力強いものとして展開せんが爲には、先づ充分に工場、農村にそのための宣傳煽動が持ち込まれなければならぬ。

## 二 政治的自由の獲得

一、政治的自由の獲得は我々の闘争の集中的目標である。であるから、政治的自由なるものを單に一般的抽象的に理解してゐては、我々の闘争の目標が漠然となるのみならず、必然的に個々の闘争の目標までふらつき、全闘争を生氣ある、生命あるものたらしめ得ない。

二、政治的自由のための闘争とは何か？

政治的自由のための闘争とは、一般的にいふならば、「言論出版、集會、結社の自由」に表象せらるゝ處の我々の闘争行動の自由のための闘争である。

現在我々の闘争の爲めの行動は、中止、解散、檢束、拘留、發賣禁止、上演禁止、等々により、極度の抑壓を蒙りつゝある。即ちストライキの爲めの集會、宣傳、煽動の自由、團結結社の自由、示威運動の大衆行動の自由、立入禁止、立毛差押反對の爲めの種々なる行動の自由、出版、上映、上演の自

由、選挙の自由及び植民地民族の言論集會等の自由、婦人少年の結社の自由——即ちそれらの闘争行動に対する中止、解散、檢束、拘留、處罰、それがための解雇等のなき状態を獲得するための闘争が我々の政治的自由獲得闘争である。

だから、例へば加り来る抑壓をハネ飛ばしてストライキ等を敢行することが政治的自由の獲得の闘争なのだ。即ち我々のあらゆる生活の爲めの闘争は自由の爲めの闘争であり、自由の爲めの闘争は生活の爲めの闘争である。

三、我々はあらゆる日常闘争に際して支配階級の抑壓を顕飛して進むべきことを——即ち政治的自由の爲めに戦ふべきことを——激動すべきである。それが爲めの宣傳煽動は演説會、ピラ貼り等としても爲されねばならぬが、特にそれは工場内労働者に、農民の間に、深く持ち込まれそこに憤激を植ゑ付けその基礎の上に立つてストライキやデモ（示威運動）や演説會、ピラ撒き等に動員、爆發せしむる。

四、政治的自由獲得のための闘争が無産大衆の日常利益と結び付いてゐることはハッキリ理解せられねばならぬ事柄である。何となれば一般的には從來政治闘争は直接に労働者農民と利害関係がないやうに理解されて來た。だが事實は政治的權力が労働者農民の日常利益の獲得を抑制してゐるので、この關係を、問題として取り上げられた具體的問題に就いて

よく理解が行き届かされねばならぬ。このことなくしては大衆を眞に心の底から憤起せしめ我々の政治的自由獲得の闘争を工場農村に根を持つたものとして力強く展開することは不可能である。

五、その他（一）日常利益の擁護伸張の闘争に關する諸方針が準用せられる。

## 三 戦争反對の闘争

一、我々は適切な機会を捕へて戦争反對の強力なカンパニーを組織せねばならぬが（戦争反對の闘争に於ても）（一）日常利益の獲得闘争、（二）政治的自由獲得の運動方針が準用せられる）特に注意すべきは此の闘争が強力に展開されるためには戦争反對の宣傳煽動が日常不斷にあらゆる機会に、あらゆる場面に、或は個人的に或は集團的に執拗に敢行せられなければならぬことである。

二、青年の組織（後の十）青年の組織確立——参照）

三、あらゆる軍國主義的組織に對する闘争——在郷軍人會官製青年團、青年訓練所、學生軍事教練、消防等々に對してその廢止を目標として戦はねばならぬ。

即ち之れ等の組織の外部から、それ等が如何に無産大衆の利益の抑壓を目標としてゐるものであるかを暴露し、又優秀

なる分子を組織内に送り込んで内外相呼應して目的の達成に努力しなければならぬ。

四、國家總動員その他の軍國主義的反動的計畫に對しても徹底的に戦はねばならぬ。

## 四 未組織大衆の組織化

（五）労働組合農民組合等の擴大強化の項参照）

未組織大衆の組織化はわが黨に課せられた重大任務の一つである。この闘争も諸多の闘争と同じく、黨の種々の闘争を通じてのみ可能であるのだから、特にこれが爲めの闘争として取立てるべきものはない。只未組織大衆の組織化の重大意義を理解して諸多の闘争の展開に當つて、未組織大衆の組織化の見地からの充分の注意が加味せられねばならぬ。

一 特に注意すべきことは單に未組織大衆の組織化といつても、我々が目指す所は未組織の労働者、農民でなければならぬことである。

即ち未組織の組織化を第一目標とする闘争を起さんとする時は、一般的な闘争——例へば電燈料値下の闘争を起すよりも、その闘争題目を工場に、農村に求め、そこには常に闘争題目が我々を待つてゐる）賃銀値下反對、工場設備の改善、小作れ減免等々の労働者農民の端緒的要求を取り上げて、そ